

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第36271号

(日刊)

2009年(平成21年)

12月26日 土曜日
[旧11月11日・先負]

発行所 琉球新報社

〒900-8525 那覇市天久905番地

電話 098(865)5111

©琉球新報社2009年

エコ体験でヒルギ植樹

外国人
留学生 NPO代表から生態学ぶ

うるま

【うるま】中部地区を中心にマングロープの保全や再生に努める特定非営利活動法人(NPO法人)マングロープE.E.C.クラブ(平川節子代表)は、このほど、うるま市州崎のマングロープテラスで、外国人留学生を対象にした植樹体験学習を行った。

参加したのはアジア圏の留学生を支援する共立国際交流奨学財団(石塚晴久理事長、東京)の奨学生28人。財団が首都圏の大学や専門学校から募り、農作業などを通して

地球環境を考えることを目的に、8日から13日までの日程で沖縄に滞在した。今回はエコ体験の一環として、初めて植樹を行った。

留学生たちは、平川代表の説明を受けた後、ヤエマヒルギ100本を植樹した。また、観察を通してマングロープの生態を学ぶなど、知識を深めていた。

参加した金美蘭さん(24)は「国士館大学3年、中国ではテレビでは見えていたけれど、初めて植



平川節子代表からマングロープの生態について説明を受ける留学生たち＝うるま市州崎のマングロープテラス

とみんなに呼び掛けた」と笑顔を見せた。

平川代表は「留学生の受け入れは今回が初めて。沖縄の人の温かさや自然の美しさを知ってもらえたらうれしい」と話した。